

ローラー付傾斜計(多段式傾斜計)

山留壁の変形
土中の側方変位測定

MC-300B ①-②③

型式末尾の①は、2軸用の場合のみ「W」をつけます。②は測定パイプの種類を示し、③は測定パイプの寸法を示します



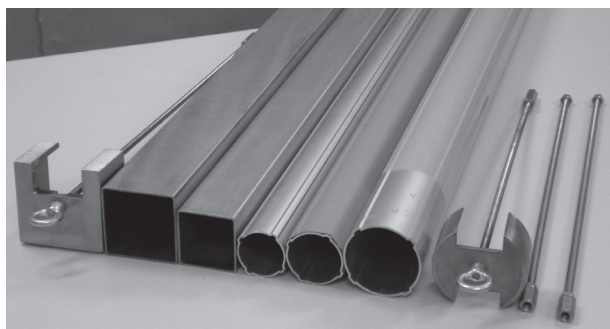
静電容量形のローラー付傾斜計で、開削工法における山留め壁の変形や地すべり監視のための地中水平変位などの計測に、深度毎に多段で設置して使用します。1軸用と2軸用がありますので、測定の目的・現場の条件に応じて選定ができます。

特長

- 1軸用と2軸用は同じ寸法です
- 市販のさまざまな寸法の十字溝付パイプにローラーを取り替えることで対応できます
- 鋼製角パイプにも対応できます
- ローラー付きですので、測定パイプ内のグラウト充てんの必要がありません
- ご指定によりアレスターの内蔵もできます

型式	MC-300B	MC-300BW
測定軸	1軸	2軸
測定範囲(FS)	±300分	
定格出力(RO)	±300mV ±15mV	
直線性	±0.5%R.O以内	
ヒステリシス	±0.5%R.O以内	
許容過負荷	200%	
許容温度範囲	-10~+70℃	
定格使用電流	50mA	
絶縁抵抗	DC25Vにて500MΩ以上	
許容耐水圧	0.8MPa	
寸法	φ30×H450mm(リンクボール含む)	
質量	約1.2kg	
ケーブル	S4-3(0.3mm ² 4心、シングルシース)	S8-2(0.2mm ² 8心、シングルシース)
ケーブル標準長	1m	

■型式末尾の②は、十字溝付パイプは「RS」を、鋼製角パイプは「MP」を、末尾③は、②が「RS」の場合、47、53、57、74 (mm) を記入します。「MP」の場合、60、75、100 (mm) のいずれかを記入します。



【測定パイプ類】

推奨測定パイプ	設置数量	②	③
十字溝付パイプ	内径47~約11台	RS	47
	内径52~約13台		53
	内径56~約15台		57
	内径74~約30台		74
鋼製角パイプ	60×60~約15台	MP	60
	75×75~約30台		75
	100×100~約60台		100

※十字溝付内径47mmのケーブル外径は4.5mmです。

※上記以外のパイプにも対応します。

【オプション】

品名	型式	内容	記事
上部キャップ	CP- (60,80)	十字溝付用	測定パイプに応じて選択
	CAP- (75,100)	鋼製角パイプ用	角パイプ寸法に応じて選択
上部ロッドセット	UR-2000	最上部の傾斜計の継ぎロッド	設置深度により長さを選択
	MR-④	傾斜計間の継ぎロッド	設置深度により長さを選択

※④は、ロッド長さ:1000、1500、2000、2500 (mm)